

日本植物形態学会第 32 回評議員会議事録

令和 2 年 9 月 8 日（火）～9 月 17 日（木）、持ち回り

出席：会長（峰雪）、庶務幹事（宮沢）、会計幹事（三角）、編集委員長（堀口）、広報委員長（栗原）、会計監査（野口）、評議員（Ferjani、稲田、今市、河野、高野、塚谷、豊岡、永田、野崎）

議題：

1. 報告事項

(1) 会長報告（峰雪）：評議員改選に伴う新体制の発足および、役員交代について報告があった。30 周年記念事業が完了したことについて報告がされた。今大会および、次回大会についての見通しが説明された。

(2) 庶務報告（宮沢）：資料に基づき 2019 年度の活動報告がなされた。合わせて、第 31 回大会（仙台）の報告がされた。

(3) 編集委員会報告（堀口）：Plant Morphology の Vol. 32 の発刊と Vol. 31 の J-Stage への公開について報告があった。

(4) 広報委員会報告（栗原）：30 周年記念事業の HP 立ち上げについて報告された。会員の研究成果について HP に随時アップしていることが報告された。

(5) 会計報告（三角／野口）：三角会計幹事より 2019 年度決算報告がなされた。野口会計監査より会計監査の結果が報告された。

(6) 3 賞選考結果報告（永田）：今年度日本植物形態学会 3 賞について、選考の過程が報告され、学会賞に高野博嘉会員が、奨励賞に秋田佳恵会員が選考されたとの報告がなされた。

(7) 令和 2 年度大会（名古屋）について（宮沢）：今年度は名古屋大の東山哲也会員を大会長として 9/18 にオンラインで開催すること、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、ポスター発表を中止して受賞講演のみ行うことが報告された。また、9/19 から開催される日本植物学会第 84 回大会において、本学会共催シンポジウムが 2 件開催されることが報告された。

(8) 令和 3 年度大会（東京）について：日本植物学会前日に、豊岡公德会員を大会長として開催予定であることが報告された。

2. 審議事項

(1) 令和2年度事業計画案について（宮沢）：令和2年度事業計画案（ただし、評議員会当日までは実績）について計画が示され、審議の結果これを了承した。

(2) 令和2年度予算案について（三角）：令和2年度予算案（評議員会当日までの実績を含む）について計画が示され、審議の結果これを了承した。

(3) Plant Morphology 投稿規定の改定について（堀口）：プレプリントサーバー（bioRxiv 等）に掲載済みの論文を投稿する場合の対応について投稿規定に記す改定案が示され、審議の結果これを了承した。

(4) 3 賞応募要項について（宮沢）：学会賞について、添付可能な論文数の上限を記す改定案が示され、審議の結果これを了承した。

(5) 総会議長候補の選出（宮沢）：野崎会員を総会議長候補として推薦することとなった。

以上

日本植物形態学会第 32 回総会議事録

2020 年 9 月 18 日 (金)、zoom 会議

1. 大会長より説明：東山大会長より、オンライン会議における zoom の使い方についての説明があった。
2. 会長挨拶：峰雪会長より挨拶があった。
3. 大会長挨拶：東山大会長より挨拶があった。
4. 総会議長選出：総会議長として、評議員会推薦の野崎会員を選出した。
5. 報告事項：
 - (1) 会長報告：植物形態学を取り巻く最近の動向について峰雪会長より報告があった。
 - (2) 庶務報告：宮沢庶務幹事より、学会会員数、2019 年度の活動、第 31 回大会（2019 年度、仙台）についての報告があった。
 - (3) 編集委員会報告：堀口編集長より *Plant Morphology* の発刊について報告があった。
 - (4) 広報委員会報告：栗原広報委員長より、30 年度記念事業など、ホームページによる情報発信について報告があるとともに、プレスリリースされた研究は学会ホームページの「最近の研究」ページに掲載するので広報委員に知らせてほしい旨周知があった。
 - (5) 会計報告：三角会計幹事より、2019 年度決算の報告があった。
 - (6) 会計監査報告：野口会計監査より、2019 年度決算について会計監査実施報告があり、適正であった旨の報告があった。
 - (7) 3 賞選考結果報告：永田選考委員会委員長より、慎重かつ厳正な選考の結果、学会賞は高野博嘉会員、奨励賞は秋田佳恵会員へ贈られることになったことが報告された。なお、平瀬賞は今回応募なしであった。
 - (8) 植物形態学会第 32 回大会（オンライン）について：東山大会長より、今回のオンライン大会の説明、翌日から開催される日本植物学会での共催シンポジウムについての紹介があった。
 - (9) 植物形態学会第 33 回大会について：宮沢庶務幹事より、2021 年度の植物形態学会は都立大にて開催、大会長は豊岡会員となる予定である旨、報告があった。

2. 審議事項

(1) 2020 年度事業計画案について：宮沢庶務幹事より、今年度事業計画案（学会当日までの分は実績）について説明があり、審議の結果これを了承した。

(2) 2020 年度予算案について：三角会計幹事より、今年度予算案（学会当日までの分は実績）について説明があり、審議の結果これを了承した。

(3) *Plant Morphology* 誌の投稿規定の改訂について：堀口編集委員長より、*Plant Morphology* 誌の投稿規定の改訂について説明があり、審議の結果これを了承した。

(4) 3 賞応募要項の改訂について：宮沢庶務幹事より、学会賞において提出する論文数上限の明記について説明があり、審議の結果これを了承した。

以上